

第 29 回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

【発表No. A04】

論文No.	A04
タイトル	温泉熱を利用した循環型地域モデル計画～つなぎ温泉での取り組み～
所属・名前	鹿島建設株式会社 大野 直 鹿島建設株式会社 古田 康衛 つなぎ源泉管理有限会社 佐藤 匡子 つなぎ源泉管理有限会社 佐藤 弘
キーワード	① 温泉熱 ② カスケード利用 ③ 地域活性化
<p>盛岡市近郊のつなぎ温泉地域では(A)源泉の温泉水温度 85℃から温泉水供給温度の 64℃までの間の熱利用、(B)温泉熱利用を集客に結び付ける、(C)温泉熱利用の仕組みを地域で支える、という3つの視点に着目し、これらが相互に関連して相乗効果が期待できるような循環型地域モデルづくりの検討を行った。具体的にはバイナリー発電や温室等のエネルギー利用目的と、温泉卵製造や野菜乾燥室等の熱利用目的を組み合わせたものであり、温泉水利用における量バランスや湯温の制約等を考慮しながら計画の作成を行った。本プロジェクトは最終的なプランニングの後、温泉熱利用施設整備を完了した。</p> <p>温泉熱利用は国が推進する再生可能エネルギーであり、近年その利用推進がうたわれている。つなぎ温泉での取り組みは地域活性化を考えている多くの温泉地域の発展にもつながるモデルとして紹介する。</p>	